

## 第13回市議会定例会

一般、企業会計総額で9億9,194万2千円の補正予算を可決

新しく沼ノ端交流センターを設置するための条例を制定。また、同施設内に沼ノ端出張所を設置するための「苫小牧市出張所設置条例」の一部改正についても可決

第13回市議会定例会は、12月7日（木）から12月15日（金）まで開かれ、報告5件、議案20件、諮問1件、意見書2件などの審議が行われました。

一般質問では7党派20人の議員より質疑があり、(仮称)市民ホール、JR駅増設、庁舎内の保育・託児施設の設置、アスベスト、男女平等参画、第7期介護保険事業計画の策定、民間活力の導入、教育行政などについて議論が行われました。

各常任・特別委員会では、消防署日新出張所庁舎建替事業（案）、旧トマモール石綿除去に係る作業停止命令、ウトナイ交流センター展望施設整備事業の概要、新水道ビジョン（案）、統合型リゾート（IR）、(仮称)苫小牧市民ホール建設基本計画などについて質疑が行われました。

今定例会で審議された主な内容と結果は次のとおりです。

### ◆報告

閉会中の決算審査特別委員会に付託された平成28年度一般会計及び企業会計・特別会計の決算審査結果が報告され、全会一致で報告どおり決定されました。

また、第48回衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査に伴う費用として7,100万円の補正、市営住宅の明け渡しと滞納家賃の支払いを求める訴えの提起、市営住宅敷地内において隣接する建屋の屋根及び外壁の物損事故に係る損害賠償の額の決定の専決処分について報告されました。

### ◆議案

#### (平成29年度補正予算及び関連議案)

一般会計では、再編関連訓練移転等交付金を活用し総合体育館ほか3施設で使用する設備を整備する経費3,812万1千円、沼ノ端駅周辺地域に防犯カメラを設置する工事費807万7千円、東部地域の小中学校のトイレ洋式化工事2,101万8千円。その他、ユニバーサルデザインタクシーを導入する市内タクシー事業者に対する補助金50万円、富美の湯の廃業に伴い継承事業者に対する設備改修費の補助及び利用者に対する交通費の補助742万3千円、錦岡1号明渠排水路及び小泉の沢川ほか2河川の整備工事4,500万円、会計検査院の指摘による生活保護費国庫負担金の返還金ほか国・道支出金の精算に伴う償還金4,600万円、ほか第2学校給食共同調理場調理等業務委託及び指定管理費の債務負担行為の追加について原案どおり可決されました。

水道事業会計では、量水器購入費1億9,159万7千円の債務負担行為の追加について原案どおり可決されました。

下水道事業会計では、汚泥脱水用凝集剤購入費2,747万6千円の債務負担行為の追加

について原案どおり可決されました。

市立病院事業会計では、医局棟増築の実施設計に要する経費1,897万6千円について原案どおり可決されました。

関連議案では、交通安全センター、保健センター、モーラップ樽前荘、ときわスケートセンターに加えて、市営住宅の集会所の指定管理者の指定などについて原案どおり可決されました。

#### **(条例の制定及び一部改正等)**

市民相互の交流を促進するなどを目的とした沼ノ端交流センターを設置するため「苫小牧市沼ノ端交流センター条例」の制定が可決されました。その他、沼ノ端出張所を設置する等のため「苫小牧市出張所設置条例」、地方公務員の育児休業等に関する法律等の改正に伴い一定の要件を満たす非常勤職員が育児休業期間を延長する等のため「苫小牧市職員の育児休業等に関する条例」、国民健康保険税の課税限度額を引き上げる等のため「苫小牧市税条例等」、助産師に対する学資金の貸付額を増額する等のため「苫小牧市立病院学資金の貸付けに関する条例」の一部改正について原案どおり可決されました。

また、住居表示の実施に当たり、字錦岡の一部を新たに町の区域を画するため「町の区域の画定について」原案どおり可決されました。

#### **◆諮問**

任期満了に伴う人権擁護委員候補者の推薦について、引き続き岡田秀樹氏、二階堂久美子氏、三隅雅彦氏、新たに佐藤守氏、齊藤裕子氏を推薦することに同意しました。

#### **◆意見書**

「統一地方選挙に係る制度の見直しを求める要望意見書」、「地域医療を守るよう求める要望意見書」が原案どおり可決され、関係機関に提出されました。